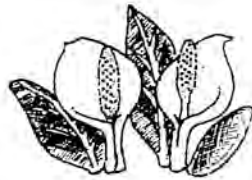


奈良・人と自然の会



水の話

川井 秀夫

地球は水の惑星と言われている。太陽系の中で太陽から絶妙な距離に位置し、年間平均気温15°C、大気と水に恵まれた楽園と言える。

しかし世界を見ると、20億人もの人々が水飢饉の中にあり、今後人口増加、食糧増産経済発展に伴う工業化が進むと、2025年には世界人口の2/3が水不足に悩まされると言う。また、中東の終わらぬ戦いも背景には水利権の政治問題が絡み、欧州諸国でも河川が国境を越えて、国と国との利害対立が深刻になっている。

こんな中で日本は世界で最も水に恵まれた国であり、この自然生産物をあまねく享受し、工業・農業・生活、豊かな森林、自然の景観保持に天恵を受けている。

特に生活水は、蛇口を捻れば容易だし、水源は天の配剤を森林がタンクの役割を、絶える事のない河川、地下水が生活帯を潤す。正に瑞穂の国と言われる所以である。

この「命の水」を人間が使えるのは、地球の保有する水量の僅か0.7%であることを知っておく必要がある。(次表参照)

大気	0.001%	河川水	0.0001%
地下水	0.62%	氷河・氷雪	2.15%
淡水湖	0.009%	海	97.2%

今、日本人は飲料水を水道水から直接飲む人は40%、大半の人はミネラルウォーターもしくは蛇口に浄水装置を通して利用している。なぜなら臭い、まずい、健康に良くないと言った理由である。私など深夜酒に酔って蛇口にキスした頃が懐かしい。

大和川は汚染度ワーストランクにあるが、ここ数年著しく改善されつつあるものの全国レベルが向上し、ワーストの汚名が拭えない。大和川流域の廃水は、全体の87%の内奈良県の生活域が85%を占めており、下流域に対する奈良県人の良識が問われている。

浄化技術にも限界があり、合成洗剤、食物油などむやみに排水することを自覚し、生活習慣として身につけたいものである。うまい水をほしければ、市民の足元から浄化すべきと思うが、いかななものか。節水と排水、ここにも日本人の心が問われている。

日本には昔からカッパの伝承が各地にある。カッパは「水の神」として日本人が創造したのだが、最大の特徴は頭にある皿である。皿に水がなくなるとカッパは死ぬ。

日本の国土の上にはたくさんの山々があり、この山が枯れるとき、日本の国は終焉を迎える事となる。

次号からゴミ問題を考えます。

旅鳥 (シギ・チドリ)

小田 久美子

『今あなたは飛行機に乗っています。長旅なので途中燃料補給をするため中継地の空港へ降りなければいけません、そろそろ燃料切れですがオット前回まであった空港が見当たりませ〜ん!・・・』なんて事は人間社会では勿論ありえないことですが、鳥の世界では毎年こういう状況が増えているのです。渡りをする鳥の中でシギやチドリは、繁殖地のシベリアと越冬地の西日本及び南西諸島への春秋2回、数千キロの旅をします。我が日本列島はそのシギやチドリがエネルギーの補給に立ち寄る大事な「中継空港」にあたります。ダイシャクシギ(60センチ)などの大型のシギもありますがそれとでもくちばしがその半分近いものですしトウネン(今年生まれた鳥のように小さいの意)などはスズメほどの小さい鳥です。よくそんなに飛ぶものだと思いませんか。お父さんが酔っ払ってフラフラ歩くのをチドリ足といいますね、なるほどチドリはエサを採っては右に左にジグザグ歩きをしています、が、彼らの目も脚もお父さんのそれとは当然ちがいが真剣です。テレビのニュース等で潮干狩りをしている人たちの後方で鳥たちが採餌しているのが写っています。砂浜には鳥たちの好物の貝やカニやゴカイ等がいて、かれらがその浜辺をクリーンにしてくれています。シギやチドリの来ない海は私たちにとっても大変なことになるというシグナルです。ご存知のように近代文明化はある意味自然をねじ伏せるところから始まりました。ギリシャのパルテノン神殿や中国の万里の長城なども最初からあんなに見通しのよい姿だったのではなくそれを築く時に周りの森林を犠牲にしてきたそうです。地球温暖化は環境破壊(戦争も含め)という人間の愚挙によってますます加速されつつあります。奈良県は海を持ちませんので「浜辺」の問題は遠い話と聞き流してしまいそうですが、海に流れる川の上流の住民として何か出来ることはありそうです。

海の無い奈良の「シギ・チ」ファンはわざわざ大阪や三重等の海辺へ出かけますが、天理市の水田で今年5/24~6/7まで数羽が目撃されています、移動中でしょうか? 暑い盛りですがアマサギばかりだと思わないで近くの田んぼに出かけてみて下さい。



7月度例会 生駒路 樹林観察 Ⅲ に参加して

弓場京子

集合時は昨夜来の大雨と梅雨どきの暑さも重なり、参加者は8名と小人数でしたが天気は快晴で「生駒山口神社」の素晴らしい鎮守の森からスタートいたしました。棚田の稲も生育は良く、カラスビシャクの群生を眺ながら元山上・千光寺の庭で昼食と水分の補給を充分に取り、樹間の鳴川溪流沿いにのんびりと鳴川峠へ。さらに花期もそろそろ終りのオカトラノオの咲く尾根道を大原山に向い、頂上の東屋で涼しい風に打たれて大休止。

東屋からは「日本の道百選」・暗峠の『峠茶屋』の湧き水で喉を潤して、無事に解散いたしました。なお、下山は暗峠より旧・奈良街道を下って西畑町の棚田を俯瞰し、標高300mの散策道を近鉄生駒駅まで脚を伸ばして矢田丘陵や平城山の眺望を楽しみました。



御担当の古川様 お世話を戴き有難う御座いました。

峠茶屋で一句 戴きました。

夏風や 背なを押されて 峠茶屋	秀夫
掠ヶ嶺(くらがね)や 仏と鬼と ホトトギス	祐司
くらがりを 鬼も通いし 夏の寺	厚次

[実施日]: 平成17年7月14日(木) 快晴

[コース]: 近鉄・東山駅＝緑ヶ丘小学校…生駒山口神社…千光寺…鳴川峠…大原山(府民の森)…暗峠…西畑町〔いこま棚田クラブ作業場〕…近鉄・生駒駅

[参加者]: 川井、古川、弓場、林、織、福谷、吉村、弓場、計8名

[担当]: 古川

近畿自然歩道 まほろばの道

・・・柴山寺と花の寺を訪ねる・・・

西 健吉

7月20日吉野下市を10時40分奈良交通のバスで阿田町で下車。暑い最中参加者11名元気に歩き始める。

舗装された道、変化に乏しくただ黙々と暑い中歩くのみ。原町を過ぎ右折するとやっと木陰に入り歩きやすくなる。岩場に生えたウツギとマルバウツギの違いを教えてもらう。また、この付近の岩盤が斜めに走っており、約7000万年前のものとのこと。反対側の川寄りに大きな菩提樹の木、五条の金剛寺にもあるとのこと比べてみたい。

約2時間眼下に吉野川を見下ろす水辺の広場で昼食。シャーベット状のグレープフルーツ、キャピヤの差し入れ。思わぬ珍品に舌鼓を打つ。本当に有難うございました。食事も済んで元気百倍栄山寺を目指す。

途中大きなクヌギの木にたくさんのカナブンが樹液を求めて群がっていました。また別の木には玉虫、蝶。木陰の中吉野川を左に見、国道に出て栄山寺に着く。拝観時間20分、一人を除いて残りは冷房の効いた茶房栄山寺へ・・・約30分金剛寺へ山門前に目的の菩提樹を観察。今度は本堂へ、ご住職の説明を聞き、ご本尊の薬師如来他の仏様を拝観。枯山水の庭、大山蓮華、牡丹、石楠花、あやめ等季節毎にいろいろの花が見られる花の寺としても有名。秋にもう一度訪れてみたいお寺です。

予定通り4時過ぎJR五条駅にくたくたになって到着。



行事報告

近畿自然歩道・まほろばの路

第4回 栄山寺と花の古寺をたずねる路

実施日 7月20日(水) 晴れ 猛暑

場所 下市口集合^バ 西阿田～栄山寺～金剛寺～JR五條 解散

参加者 福谷、林、吉村、川井、西、砂山、弓場(京)、小森、篠原、宮沢、高橋
小山、豊島、弓場(厚)、寺田(担当) 15名 (下見を含む)

予定時刻に出発。吉野川の流れをちらちら見ながら観察。水辺の広場にて昼食。西阿、トイレがあり、ゆつくり休憩、古刹栄山寺に参拝。吉野川を越え五條市内へ花の寺「金剛寺」にて寺の歴史、花の時期等の説明を受けお参りをする。境内には、菩提樹、白檀(樹齢300年といわれている。ビヤクダンについても植物学としては定かではないとのこと)等を観察。

JR五條駅前にて感想会後解散、帰途。 16時29分発のJRに乗車

「皆さんのお声」

暑かったが、よく歩けた。五條の文化に触れることが出来た。吉野川を身近に感じた。金剛寺が素晴らしかった。西阿での休憩が爽やかだった。キャピヤがおいしかった(弓場さん ごちそうさま)。ポダイジュとシナノキの同定が出来た。ほとんどが舗装道路であったが吉野川の土手の地道が有り難かった。他(寺田記)

植物の知識いろいろ

【万葉集の植物】 いちひ (イチイガシ)

寺田正博

…… あしひきの この片山に 二つ立つ 櫟が本に 梓弓 八つ手挟み…… (長歌)
乞食者詠 (ほかひびとのうた) 16-3885

春日大社神苑の池には浮舞台があり、その背後にイチイガシの巨木があります。

目通り (高さ1.5mの部分の幹周) が3mを超える春日大社境内の23本が昭和56年2月12日に「春日大社境内のイチイガシ巨樹群」として奈良市指定の文化財 (天然記念物) となった。この巨樹もその内の1本です。この歌のイチイガシは平群の片山にありました。歌は長歌で、「この片山に二本立っているイチイガシのもとで、梓弓を持ち鹿を待っていると、雄鹿が現われて嘆くことに、もうすぐ私は死にますが、天皇のお役に立つでしよう、角は御笠の飾りに…」と続きます。鹿の嘆きの歌のようですが、実は、鹿の人間への奉仕をことほぐ歌です。

「乞食者」とは、祝福の詞章を振りに合わせて唱える巡遊の者で、鹿や蟹のかぶりものをして、服従を誓い、祝福する芸能を演じた。

イチイガシは、関東以西の暖地に生える常緑高木で、高さ30mにもなる。葉は長さ6~15cmで裏面に黄褐色の毛が密生する。五月頃、新しい枝の下部から、黄褐色の雄花を多数つけた5~15cmの尾状花穂をたらす。果実 (ドングリ) はその年の秋に熟し、食用になる。材は堅く、建築器具などとして用いられる。古くは船の櫓、槍の柄の適材として広く利用されてきた。また笏も作られた。

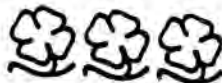
櫟と書く他、伊智比とも書く。実用性はあったが、特に目立つ木でもなく平安時代以降の文芸作品には、ほとんどとりあげられていないそうである。

参考引用文献 「万葉植物事典」北隆館、「万葉集の植物」偕成社、

「万葉集を知る事典」東京堂出版、「奈良公園の植物」北川尚史 他



地域情報



- ★ 6/19 飛鳥川で夕方ゴイサギを間近かで見ました。こんなに側でじっくり見たのは初めてでした。(齋藤)
- ★ 7/6 白檀町でアブラゼミの初鳴き ・7/10 ヒグラシが鳴きました
7/15 クマゼミが鳴き出しました (齋藤)
- ★ 6/28 AM7:15 竜田川の河原で3羽のスズメが声を揃えて鳴いています。合唱しているのかと思いました。次々と増えて、鳴き声も大きくなっていきます。不思議に思ってよく見ると、スズメたちは一列に並び必死で鳴いています。前には大きなヘビが……何を護ったのかは判りませんが、こんなに力をあわせるのに感動しました。(勝田)
- ★ 7/13 三室山の梢でカララヒワが2羽求愛給餌をしていました。ぼっち写真に撮りました。(勝田)
- ★ 7/20 西大寺のアオバズクのひなが4羽無事巣立ちました。(小田)
- ★ 8/6 平城旧跡いつもの芦原で17時頃ツバメのネグラ入り探鳥会があります。
お問い合わせは 小田へ (小田)



《8月の「例会」「近畿自然歩道・まほろばの路」は休みとします》

【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林（集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分
淀川、木津川、白砂川の源流域）
- 〈集合場所〉 忍辱山円成寺駐車場（バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間）
- 〈日 時〉 8月 7日（日） 9時30分 第31回
8月24日（水） 10時30分 第32回
9月 4日（日） 9時30分 第33回
9月27日（火） 10時30分 第34回
- 〈終了予定〉 午後3時頃
- 【天 候】 午前7時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします
- 〈交 通〉 奈良交通バス 平日 [月ヶ瀬温泉行き] 土、日 [柳生行き]
JR奈良駅③番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺
- | | | | |
|----|------|------|-------|
| 日曜 | 8:26 | 8:29 | 9:02 |
| 平日 | 9:30 | 9:33 | 10:06 |
- 臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100
- 〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
長袖着用。
- ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

〈実施報告〉 ・参加者

7月6日（水）曇時々晴れ 6名（男性 5名、女性 1名）
中畑、小森、松浦（初）、勝田、弓場、寺田。（初）は初参加者。

7月17日（日）曇 8名（男性 7名、女性 1名）
小森、明石、下村、川井、大石、弓場、阿部、寺田。

作業前に安全確認をし、無事作業終了。

ほぼ九割の地域で作業が終了し、8月、9月にて全域終了見込みです。
皆様のご協力、参加をよろしくお願い致します。

〈9月の予定〉

※いずれも詳細は機関紙第44号〈9月号〉でお知らせします。

9月度例会 春日山原始林（文化遺産）自然観察研修会

春日山原始林の照葉樹林と奈良公園の自然観察研修会です。

普段は立ち入りを禁止されている春日山原始林の中を奈良県の許可を得て、照葉樹林の自然観察研修会をおこないます。

日時 9月19日（祝） 9時30分 午前7時警報発表時は中止
集合場所 近鉄奈良駅前 行基菩薩噴水前
観察コース 興福寺～飛火野～春日大社～春日山原始林～若草山～東大寺
担当 阿部和生（森林インストラクター）
寺田正博（森林インストラクター）

近畿自然歩道・「まほろばの路」

第5回 金剛山麓文化を巡る道

日時：9月24日（土）午前10時15分

集合場所：JR 五条駅北口

担当：有本倍美

協力活動「いこま棚田クラブ」8月、9月活動日 ご案内

活動日… 8/7（日）、8/8（月）、8/21（日）、8/22（月）、（8月は変更になりますご注意ください）

7月号の案内が間違っていました（8・29→8・22）ご注意ください

9/4〔日〕、9/12（月）、9/18（日）、9/26（月）

自由参加です。 棚田の風に吹かれて見ませんか！、

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持物：弁当（第三日曜日は炊き出しあり） 作業スタイル

事務局：大寺道代

社会貢献事業へのお誘い『奈良県環境フェア』〈奈良県環境県民フォーラム主催〉

◎ 日時 8月6日（土） 9時30分～16時30分

◎ 場所 奈良県広域地場産業振興センター JR高田駅前
近鉄大阪線大和高田より徒歩5分

◎ 出展 子供対象の体験工作指導（セミマル君・ヨシ人形・竹の鶯笛・バードコール）

◎ その他 ①参加戴ける方は担当までご連絡下さい。②第2駐車場が使えます。

③工具、材料は担当で用意します。④弁当、飲み物は各自ご持参下さい。

◎ 担当 樋口 善雄
岩田 和子
齋藤 和子

平成17年7月定例幹事会報告

平成17年7月1日(金) 於 奈良県女性センター

出席者 川井、大石、小田、勝田、寺田、豊島、樋口、古川、弓場(司会)、小山(書記)

【報告事項】

- (1) 会員動向 会計報告 会員数 95名 現金残 196,732 支出状況は昨年通り。
- (2) 6月度例会 稲村ヶ岳 自然観察会 6/12(日)～13(月)(1泊) 22名参加(新人3名)
山頂は土砂崩れで登れなかったが、無事、順調に予定通り帰着した。
- (3) 近畿自然歩道・まほろばの路 大淀フルーツの里 6/10(金) 参加10名下見7名、計17名
晴れて暑い日であった。梨園で園主より梨の説明を聞き勉強になった。良いコースであった。
- (4) 奈良・忍辱山 森林整備作業 6/4(土) 5名 3時まで作業、6/16(木) 雨で中止、目標の8
～9割進み、現在まで事故、怪我人無し9月末までに目標完了予定。その後の継続は検討中。
- (5) ならコープ環境保全活動助成金申請し奈良・忍辱山 森林保全事業に対して認可された。
- (6) 「いこま棚田クラブ」定例通り 6/5(日)、6/13(月)、6/19(日)、6/27(日)実施。

【討議事項】

- (1) 黒髪山c/f自然塾7,8月参加予定の確認 (詳細は7/4の黒髪山運営委員会で決定後確認)
7/24 「森の鳥と昆虫観察」出席者(岩田、斎藤、倉田、川勝、樋口)
8/28 「竹炭を焼こう」50人位参加予定、出席者(募集予定)
- (2) 県民フォーラム:環境フェア出展確認(体験型イベント)8/6(土)穴明きボードに忍辱山、
棚田の写真を展示予定 出席者(斎藤、岩田、川勝、甲斐野、吉村、倉田、樋口)
- (3) 7,8月度定例行事予定の確認 (8月は例会、近畿自然歩道共 お休みいたします)
 - 1) 例会 7/14(木) 生駒山Ⅲ 東山→千光寺→鳴子峠→暗峠→解散 担当(古川)
 - 2) 近畿自然歩道 7/20(水) 柴山寺を訪ねる路 担当(寺田) 下見7/7(木) 本番と同じ
 - 3) 奈良・忍辱山 森林整備作業 (奈交バス臨時無く下記の時間にお乗り下さい)
奈交バス近鉄奈良発 7/6(水) 9:33乗車、7/17(日) 8:15乗車の事
奈交バス近鉄奈良発 8/7(日) 8:15乗車、8/24(水) 9:33乗車の事
 - 4) 「いこま棚田クラブ」 7/3(日)、7/11(月)、7/25(月)、7/31(日)を予定
8/7(日)、8/8(月)、8/21(日)、8/22(月)を予定

編集後記:

- * 連日の暑さで、小鳥たちも息苦しそうに口をあけています。まだまだ暑さが続くようです。会員の皆様、くれぐれもお体にご注意下さい。
- * 43号より「鳥」関係の記事は長野・小田両氏に交代で担当していただき、また新たに「植物の知識いろいろ」は寺田氏に担当願いました。連載中の川井氏の「環境問題」と共にご期待下さい。
- * 地域情報へ記事1・2行でも結構ですので、送って下さい。

編集担当 : 勝田 均

Tel&Fa

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫